

(釈文)

去京一千五百里

多賀城

去蝦夷国界一百廿里

去常陸国界四百十二里

去下野国界二百七十四里

去靺鞨国界三千里

西

此城神龜元年歲次甲子按察使兼鎮守將

軍從四位上勳四等大野朝臣東人之所置

也天平宝字六年歲次壬寅參議東海東山

節度使從四位上仁部省卿兼按察使鎮守

將軍藤原惠美朝臣朝獺修造也

天平宝字六年十二月一日

(讀み下し文)

多賀城

京を去ること一千五百里

蝦夷国の界を去ること一百廿里

常陸国の界を去ること四百十二里

下野国の界を去ること二百七十四里

靺鞨国の界を去ること三千里

西

此の城は、神龜元年、歲は甲子に次る按察使兼鎮守將

軍從四位上勳四等大野朝臣東人の置く所

なり。天平宝字六年、歲は壬寅に次る參議東海東山

節度使從四位上仁部省卿兼按察使鎮守

將軍藤原惠美朝臣朝獺、修造するなり。

天平宝字六年十二月一日